

# 市の考えを問う 一般質問

3月16日・17日・18日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



## Q こども医療窓口無料化の必要条件

## A 国保連合会等への委託を検討

山中 基充 議員

**質問一** 国保連合会、社会保険診療支払基金への業務委託の埼玉県下の状況及び現物給付との関係について。

**二** 当市の現物給付への取り組み状況について。

**三** 現物給付に伴う市の負担増への対策について。

**四** 国保連合会、社会保険診療支払基金への業務委託への考えは。

**答弁一（市長）** 埼玉県内の70自治体のうち、平成22年1月現在、43自治体がこども医療費の窓口無料化を実施。そのうち18自治体が、国保連合会と社会保険診療報酬支払基金へ業務委託している。

**二** 23年度から窓口払いの廃止に向け準備を始めたところ。

**三** ペナルティ等により負担増となるが、子育て家庭への経済的、時間的負担を軽減する現物給付を実施することは、子育て支援の重

要な施策のひとつと考えている。

**四** 現物給付の開始に当たり導入を検討していく。

### ◎その他の質問

**一** ファミリーサポートセンターで、子育てボラのスクラムを

**二** なくそう食品ロス、給食のアレルギー対策等を充実しつつ、食べ残しのないまち鶴ヶ島への取り組みを



鶴ヶ島市の平成22年度予算書

## Q 予算書について

## A 理解しやすい掲載方法を検討

田口 幸央 議員

**質問一** 予算概要書など、さらに改善できないか。

**二** 歳出の目的別、分野別の多年度推移のグラフ化について。

**三** 一部事務組合負担金は一般会計のどの部分に割り振られているか。

**答弁一（市長）** 予算書の基本的な様式は地方自治法施行規則の通り、単年度の計画書として作成している。予算概要については

各年度の説明書として作成してきた。理解しやすい掲載方法など、検討を行っていく。

**二** 歳入と同じように分かりやすい掲載の仕方など、検討していく。

**三** 地方自治法により、目的に従って款項に分けて区分するように定められている。

### ◎その他の質問

**一** 国や県との関係について

**二** 市民との関係について

**三** 農業大学の移転について

**四** 埼玉西部環境保全組合の更新施設について

**五** 高倉ふるさと協議会など地域活動支援について

**六** ふろいでの施設や跡地利用について

**七** 鶴ヶ島市の環境問題の現状について

**八** 市民の安全・安心 不安への対応の現状について